

八丈島 水産だより 7月号 2018



ハイビスカス



歴史民俗資料館

関東では早くも梅雨が明け、いよいよ夏本番を迎えています。八丈島では7月1日に海開きの式典が行われ、海水浴を楽しむ人が多く見られるようになりました。

さて一時休館していた「八丈島歴史民俗資料館」が、6月9日から八丈支庁の展示ホールに移転・再開されました。またその隣では「八丈島・青ヶ島のうんまけもの」という企画展示も行っていますので、ぜひお越しください！

■ 最近の漁模様

八丈島では、5月を中心にケンサキイカが水揚げされています。今年の漁獲量は112.7キロと、昨年の2.7トン大きく下回りました。また島で「バショウイカ」と呼ばれるアオリイカもあまり見られませんでした。八丈島周辺の水温が平年より高く、冷たい海水を好むイカが近づいてこなかったのかもしれませんが、来年また水揚げが増えることを願うばかりです。



ケンサキイカ



アオリイカ



水揚げ

■ 漁港について



神湊漁港



水揚げ



出荷作業



燃油タンク

漁港は漁船を停泊させたり水揚げされた魚を出荷する作業を行うなど、漁師さんの活動の拠点となる場所です。このため、漁船に燃料を供給するための燃油タンクやメンテナンスを行うために船を陸上へ揚げる船台といった、漁を行うために必要な施設が整備されています。現在八丈島では、水揚げのほとんどが神湊漁港と八重根漁港の2カ所で行われています。トビウオなど水揚げする魚が多いときは、大勢で手伝います。

八丈島夏まつり 7月20日～22日開催！